



# ゆりこの市議会だより

発行/後藤ゆり子事務所  
〒020-0807 盛岡市加賀野1丁目17-3  
電話/019-654-2220 FAX/019-654-2231  
携帯/090-2366-1036

第48号  
2019.春

盛岡市議会議員《盛友会》後藤百合子だより

## ゆりこの盛岡市議会 Q&A

2019(平成31年)  
3月6日  
一括質問(一問一答)

### ◆幼保無償化について

\*幼保無償化とは、2015年(平成27年)スタートの「子ども・子育て新制度」にたいする改正案、さる2月12日、閣議決定による「幼保無償化法案」これは約23万人の保育環境をととのえるため、きたる10月、消費税の増税、総額6,6兆円のうち2兆円を充当。

#### ①市の役割

**Q** 無償化に対する市の役割は、全体的にどうなるか  
**A** 親にとって経済的負担の軽減。実施にあたり公平なサービスの実現。

**Q** 1保育所への影響  
**A** (1)構成

**Q** いま保育所は何園か。また保育料の未収金はいかほどか。

**A** 保育所は89園(公立11、私立78園) また未収金は、平成29年度決算、現年度分1,100万円と、滞納繰越分6,100万円で、計7,200万円。

#### (2)副食費

**Q** これまで保育料にふくまれていた副食費が、無償化により、3歳から5歳児は実費負担となる、どうするか。  
**A** □座ふりかえなどで支払いを願う。

#### (3)企業主導型保育園

**Q** 企業主導型保育園の存在は重要だが、無償化の対象になるのか。現在の開設状況は、認可保育所との違いは。  
**A** 対象となる。現在5施設。31年度5施設の開設予定で、10施設となる。企業型は、市の施設基準によらず、国の委託機関から補助を受ける。

#### (4)市立保育園

**Q** 民営化の今後の計画、これまでの効果は。  
**A** 31年度、第4次民営化実施計画を。効果は、環境改善、0歳児保育等。

#### (5)0歳児保育

**Q** 0歳児保育に係るコスト、保育士の人員は。市が拠出の保育料は。  
**A** コストは施設規模により、1人あたり月額15万円から17万円。保育士は0歳児3人に1人配備。(注:1,2歳児は6人に1人。3歳児以上は20人に1人)市立は市が全額負担

#### ②幼稚園への影響

##### (1)構成

**Q** 私立、市立の幼稚園数は。また市立は順次、民営化するか。  
**A** 私立は15園、市立4園(31年度から3園) 民間譲渡は今後検討する。

##### (2)奨励金、保育料

**Q** 旧制度の私立幼稚園に対する幼稚園奨励金は、無償化後、現物給付(市が幼稚園に支給し、保護者は差額を園に支払う)か、償還払い(保護者が園に保育料の支払いを行い、その後市が保護者に保育料を支給)か。また市立幼稚園の保育料も無償化の対象か。  
**A** 奨励金については市で検討。市立幼稚園は無償化する。

#### ③認定こども園への影響

**Q** 無償化で、あらたに認可外保育施設や保育施設の

一時預かりが補助の対象となるが、対象者をどのように見込むか。  
**A** 認可外は、3〜5歳が125人、0〜2歳が17人、計142人。一時預かりは3〜5歳59人、0〜2歳が4人、計102人と見込む。

#### ④待機児童への影響

**Q** 無償化の実施で、保育所や認定こども園の、あらたな需要はどうか。  
**A** 増加見込むが、正確な数量は不明。女性の社会進出は進むも、施設の定員割れはあり得る。

#### ⑤子ども区分

**Q** 新制度では、児童の区分として、1号(新制度幼稚園、認定こども園)、2号(保育所、認定こども園)、3号(0〜2歳児)、各子どもが支援対象となっている。韓国では、4号子どもとして、在宅の子ども区分がある。4号子どもに対する支援も必要ではないか。  
**A** 制度的には、国がどう考えるかだ。なお、在宅の子ども対応で、市内8か所に、地域子育て支援センター等ある。

# ゆりこの突撃レポート

【その④】



## 市立病院

明治28年発祥の市立病院、病院事業管理者はじめ関係者一丸となつての経営改善で平成30年度、黒字化に

平成11年(1999年)本宮に新病院として開設あつてより、苦節19年、黒字化がみこまれる、30年度。その経緯や、今後の新たな発展のありかたにつき、盛岡市立病院 佐藤輝男事務局長にお話をうかがいます。

### 【新病院の創設】

□ゆりこ 沿革を申せば、明治28年東中野万田(現鉈屋町)に、盛岡市伝染病院隔離舎が開設、大正15年盛岡市民病院と改称、一方、昭和4年三田横町(現中央通り)に市立の盛岡実費診療所が開設、昭和23年盛岡市立病院と改称、昭和35年、これら2病院を統合、鉈屋町に市立病院

を開設、きょうわい化、老朽化等により、6年の事業期間の後、現在地に新設となりました。この地を選んだ理由、また総事業費につき、うかがいます。

■佐藤事務局長 市立病院は、平成11年7月に現在の本宮地区に移転・開院し、今年でちょうど20年目となります。当市のみならず盛岡広域圏の公立病院として、副都心となります盛南開発地区への移転新築が適当であるとのことから、本宮地区を最適地としたものです。移転新築に要した費用は、用地費、工事費及び医療機器購入費を含めて総事業費約133億円と大きな事業でありました。

□ゆりこ 施設整備にくわえて医療機器の整備があり、大設備投資でした。巨額の投資は、必要不可欠として、その後の経営、運営は多難なものがありません。相前後して創設の新卸売市場(平成13年、新市場を羽場に開設、総事業費240億円)もまたしかりで、テナント料も旧市場に比べて、10倍以上となり、退去や廃業の事例もあります。しかし病院では、事情がことなり、遊休地にサ高住の業者を募集しましたが、見解の統一がみえず、訴訟となりました。経過はどうでしょう。

□ゆりこ このような契約事項は全庁的に、対応するシステムを構築するように、議会質問の際に要望しましたが、経緯はいかがでしょう。

■佐藤事務局長 訴訟となった今回の事案を教訓に、リスク管理の徹底に向け、今後、関係部署の情報共有や連携を更に進めるとともに、状況により、全庁的な協議を行う体制をとることを確認しています。

### 【第4次経営改善計画】

□ゆりこ 平成31年度着手の第4次経営改善計画の内容は。

■佐藤事務局長 病院敷地内の未利用地については、高齢者向け住宅等の施設として活用する事業者を決定し、協議を進めてきたところですが、平成29年4月に訴訟が提起され、2年が経過しました。これまで5回の口頭弁論などが行われましたが、31年4月11日に結審し、6月に判決が言い渡される予定です。判決の内容により、今後の対応を検討することとしています。

■佐藤事務局長 3月に、平成31年度から4年間を計画期間とする「第4次経営改善計画」を策定しました。計画では、単年度収支の黒字化による経営の健全化を達成し、安定した健全経営を目指すこととしています。基本方針として、①患者さん中心の医療、②地域医療連携、③経営改善の3つの柱を推進しながら、少子高齢化社会で求められる「地域の医療は地域で守る」と

いう地域包括ケアシステムの推進に貢献するほか、職員全員参加の経営改善などの取組を進めることとしています。

また、岩手医科大学附属病院の矢巾町移転を控え、救急医療を始めとする市の医療提供体制の変化に対応する内容を盛り込んだ計画としました。

### 【医師の充足】

□ゆりこ これまでの長い歴史の中、伝説の名医ともいえるべき先生方もおられました。近年は医師不足の克服に力を注いでこられました。盛岡市には公立医大はなく、岩手医大に医師の派遣を要望するも、近年は研修制度の変容等で、首都圏に医師が集中し、医大附属病院も、医師確保がままならず、その確保が最重要課題。しかし加藤病院事業管理者(病院長)のご尽力を柱に、補充につとめてこられました。現在の陣容、診療科目等についていかがですか。

■佐藤事務局長 現在、内科、神経内科、消化器内科、外科、

整形外科、神経精神科など、18の診療科を設けています。また、最近では、腎臓内科、泌尿器科、脳神経外科を新設するなど、診療科の充実に取り組んできました。医師数は近年少しずつ増えており、お陰様で平成31年度は、常勤医師27人の体制となっています。病院のエンジンとなる医師の確保は、市民の皆さんのニーズに合った医療を提供する上で、重要な課題であり、引き続き、積極的に取り組んでいきます。

### 【めづる医療のありかた】

□ゆりこ 院長先生のお話をうかがいますと、市立病院の進むべき方向は「地域包括ケアシステムの推進」とともに「不採算部門」とされる「全身合併症をとまう精神疾患や周辺症状を有する認知症」の患者さんへの対応に尽力することで、感銘をおぼえます。今日、高齢化が進み、また市民の多くが生きていることに、不安をかかえているのでは、と思われる現況で、総合病院に精神科を有する市内で唯一の病院(医

大移転後)としての役割は重大です。しかも岩手医大の医師が、保健師、看護師等と連携でおこなった、自殺ワースト返上を目ざしての、各戸を訪ねての精神医療「久慈モデル」は日本に冠たる医療集積です。

■佐藤事務局長 精神医療は、議員がお話しされたとおり、医大附属病院移転後は、総合病院有床精神科は、市内では市立病院のみとなりますので、政策医療としての必要性と意義は高く、今後とも継続して担うべき医療と考えています。また、増加する認知症患者さんに対して、当院神経内科との連携によって、認知症周辺症状の治療にも力を入れていきます。

### 【医療収益の改善】

□ゆりこ 平成30年度決算は、当期純利益を計上の見込みです。これは新病院となって、実質的に初の黒字会計、関係各位のご努力がみのり、うれしい限り、これから真価発揮と考えます。また収益改善の原因をトータル

に、どのようにお考えでしょうか。

■佐藤事務局長 平成30年度は健全経営元年と位置付けて、病院職員が一丸となって経営改善に取り組んだ結果、黒字となる見込みです。市立病院では、19年度以降、3次にわたって本格的に経営改善に取り組んできましたが、徐々に成果が上がり、ここまですごい感じでした。要因としては、医師の確保とともに診療科の新設や地域包括ケア病棟の導入・活用、消化器・栄養センターの充実などにより、患者数や手術件数が増えたこと、患者さん一人当たりの診療単価が増えたことにより、収益が増加したことが挙げられます。今後は、薬品費など材料費に係る購入費削減の取組を進めて、持続可能な健全経営を目指していきます。

□ゆりこ 今後はさらに、医療収益の計上、医療外収益の計上が実現なれば、と考えますが、いかがでしょうか。

■佐藤事務局長 市立病院の収益はここ数年、増加しています

が、全国的には、人口減少や少子高齢化が進展する中であって、特に65歳以上の高齢者の入院受療率は毎年減っており、高齢者が増えても入院患者数は減る傾向にあることから、これまでのように増加するかは懸念されるところです。ただ、市立病院においては、医大附属病院の移転により、需要が見込まれる内科、外科を中心とした救急患者さんの受入れを積極的に行うことにより、それをカバーすることが出来る状況にあります。これを大きな好機と捉えて、患者を確保することにより、収益の増につなげて行きたいと考えています。

### 【今後の展望】

□**ゆりこ** いよいよ医大附属病院が移転しますが、市立病院の対応はどうでしょう。また、今後の展望についていかがいます。

■佐藤事務局長 医大附属病院はこの9月に移転となりますが、特に救急については、市民の皆さんが安心して受診できるように、

毎日午後11時まで医師を内科系

医師と外科系医師の2人体制に強化して受け入れる予定としており、現在の準備を行っています。また、公立病院としての役割を果たしながら、市民の皆さんに良質で安全・安心な医療を提供していくことはもちろんですが、そのために、地域の医療機関や介護施設と連携し、一般急性期医療を提供するほか、地域包括ケアシステムの中心となる地域包括ケア病棟を運営し、在宅復帰支援の充実を図っていきます。また、レーザーによる尿路結石の除去手術や、総合内科体制の推進によって医療機能の充実を行っていきますし、4月に設置した「医療連携支援センター」では、入院患者さんが安心して入院し、退院後の訪問診療・訪問看護を含めた切れ目のない支援を行っていきます。

いすれにしても、「あってもいい病院」ではなく、「なくてはならない病院」として、地域の皆さんが求める医療を提供し、地域に密着した病院を目指していきます。

ます。

□**ゆりこ** 市立病院への意見、要望などがある場合は、どこが担当課となるのでしょうか。

■佐藤事務局長 ご意見、ご要望は、市立病院総務課又は医事課までお寄せください。また、市立病院ホームページや市ホームページを通じて、メールでもお受けしますし、病院内には、ご意見箱を設置しておりますので、お気軽にご要望などを投書いただければと思います。

寄せられたご意見・ご要望は情報共有し、接遇を含めた医療の質の向上に活用していきます。

### 【最後に】

□**ゆりこ** 盛岡市政で経営改善をのぞむ、3大課題は、中央卸売市場、岩手県競馬、そして盛岡市立病院。しかし病院には経営改善のきざし。あたらしい盛岡の発展がはじまるか。



## 【インフォメーション】

### 盛岡市議会選挙のお知らせ

告示 8月18日(日)  
投開票 8月25日(日)  
以上、よろしくお願いいたします。



【ホームページのURL】  
[www.yuriko-morioka.com](http://www.yuriko-morioka.com)

市政だより「ゆりこ」の議会だより「は、政務活動費で作成しています。」